

## 4) 高齢者擬似体験

～80歳を体験してみましよう～

### うらしま太郎

愛称の「うらしま太郎」は浦島太郎が竜宮城から持ち帰った玉手箱にちなんでいます。セットのカバンを開けて用具を装着するとたちまち高齢者(75歳～80歳)に変身してしまうことから、この名前がついています。

**耳栓**  
高音域を聞きづらくした耳栓をつけることで、老人性難聴に特有な聞きにくさを再現します。

**眼鏡**  
加齢によって生じる白内障による色覚変化、ぼやけて見える状態や視野の狭さを再現します

**肘サポーター・重り**  
関節を固定して、手首に重りをつけることで、筋力の衰えによっておこる肘関節の緩慢な動きを再現します。

**手袋・手サポーター**  
手指の触覚、圧覚、温覚などの低下により、物がつかみにくい、落としやすい状態を再現します

**膝サポーター・重り**  
膝にサポーター、足首に重りをつけ、筋力の低下に伴い、膝関節が動きにくくなる状態を再現します

**荷重  
チョッキ**  
体験者の体重に対比させた重りを入れたチョッキをつけて、加齢に伴う前かがみの姿勢を再現します

**靴型サポーター**  
足首の関節を半固定することで、歩く時につま先が上がらず、つまずきやすくなる状態を再現します

**靴型  
サポーター**